

佐野短期大学シラバス2013

科目名 Subject Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
教職実践演習 Teaching Practice Seminar		2年	後期	水曜日・4時限
単位数	授業の形態		授業の性格	
2単位	演習	選択 (教職課程必修: 栄養教諭2種免許)		
当該科目の理解を促すために受講することが望まれる科目				
栄養教諭論、栄養教育実習事前事後指導、栄養教育実習				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
栄養士資格取得に必要な科目ならびに栄養教諭2種免許取得に必要な科目				
担当者に関する情報				
氏名		研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
藤原保利・松崎勇人・高木道代・駒場啓子		本館2階 福祉棟2階	水曜日・4時限講義前後	授業中に指示します
授業の概要				
教職ポートフォリオ(学習の履歴、実習記録、実習評価表等)に基づく反省と考察を加え、特に、①学習指導力、②児童生徒指導力、③調整力、④学校・学級経営力の4つの視点から教職実践力をとらえ、教職の理解とその実践力の習得を図る。				
授業の到達目標				
①教育に対する健全な使命感、責任感、情熱を持って、児童・生徒と共に学び、成長しようとする態度を身につけることができるようにする。②教員としての職責や義務の自覚に基づき、目的や状況に応じた適切な言動をとることができるようにする。③児童・生徒の発達や心身の状況を適切に把握し、すべての児童・生徒が生きる力を育む学級経営を行うことができるようにする。④教育の目的・内容・方法についての基本的事項を再度確認し、それを学習指導に応用することができるようにする。				
授業の方法				
授業の進め方は、主に演習形式で行う。講義、講演、模擬授業(役割演技を含む)、実技指導、ディスカッション、事例研究、発表、まとめ等の方法を組み合わせながら取り入れ、教職実践力の習得を図る。				
学習の成果				
①誠実、公平かつ責任感をもって児童・生徒に接し、児童・生徒から学び、共に成長しようとする意識を持って、自己の職責を自発的、積極的に果たそうとする姿勢を身につけることができる。 ②挨拶や服装、言葉遣い、他の教職員への対応など、社会人としての基本を身につけるとともに、相互に連携・協力しながら、課題に対処することができる。 ③児童・生徒の特性や心身の状況を把握した上で学級経営案を作成し、それに基づく望ましい学級集団を築こうとする態度を身につけることができる。 ④指導のねらいを達成するために、主体的に教材研究を行い、指導の方法・形態を工夫するとともに、それを活かした学習指導案を作成することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス・概要説明、教育実践演習の意義と目的、教育実践ポートフォリオ(実習記録、実習評価表等)に基づく反省と考察、研究課題の設定 (担当: 藤原、高木)			
第2回目	教育経営について(講演・討論・まとめ)、学校経営、学級経営、学年・学校行事の経営の理解 (担当: 松崎)			
第3回目	外部講師による講演: テーマ「児童生徒理解について」 (佐野市教育委員会) *レポート(提出は第3回目の授業日)			
第4回目	外部講師による講演: テーマ「現代社会の教育諸問題と教職の課題」 (佐野日本大学中等教育学校長) *レポート(提出は第4回目の授業日)			
第5回目	外部講師による講演: テーマ「個別栄養相談・指導の現状」 (栄養教諭) *レポート(提出は第5回目の授業日)			
第6回目	改正教育基本法・学校教育法と学習指導要領(講義・討論・まとめ) (担当: 高木)			

第7回目	食に関する指導の計画・実施・評価Ⅰ（食に関する指導の全体計画の作成）（担当：駒場）	
第8回目	食に関する指導の計画・実施・評価Ⅱ（学校給食年間指導計画の作成）（担当：駒場）	
第9回目	食に関する指導の計画・実施・評価Ⅲ（指導案の作成）（担当：駒場）	
第10回目	児童・生徒の栄養上の課題と学校・家庭・地域との連携（講義・討論・まとめ）（担当：駒場）	
第11回目	「食に関する指導」の模擬授業Ⅰ（役割演技・討論・まとめ） 学校給食を「生きた教材」として活用し、効果的な指導を行う。（担当：高木）	
第12回目	「食に関する指導」の模擬授業Ⅱ（役割演技・討論・まとめ） 小学校第1・2学年、第3・4学年を対象に、文部科学省食生活学習教材を活用した授業を行う。（担当：高木）	
第13回目	「食に関する指導」の模擬授業Ⅲ（役割演技・討論・まとめ） 小学校第5・6学年、中学生を対象に、文部科学省食生活学習教材を活用した授業を行う。（担当：駒場、高木）	
第14回目	「食に関する指導」の模擬授業Ⅳ（役割演技・討論・まとめ） 学級活動で朝食の大切さについて指導する。（担当：駒場、高木）	
第15回目	「食に関する指導」の模擬授業Ⅴ（役割演技・討論・まとめ） 家庭科や保健体育等で日本型食生活を見直させ、生活習慣病予防の重要性について指導する。（担当：駒場、高木）	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度	20%	以下の事柄で判断する。授業で使われる教材を準備して臨んでいる。ディスカッションの場面で自分の意見を述べる。授業に集中し、必要なことはきちんとノートにとる。分りにくい点があれば積極的に質問する。
レポート	40%	S=90-100 A=80-89 B=70-79 C=60-69 D=59-0 Sのレポートは、詳細に課題を探究し、内容構成がしっかりしており、課題の要件を十分に満たしている。
調査報告書		
小テスト		
中間・学期末試験		
発表内容（態度含む）	40%	適切かつ正確な資料を用いることによって理解の深さを示す。誰もが聞き取れるように、明瞭に大きな声で発表する。
その他		
教科書と参考図書		
授業担当者より適宜指示する		
履修上の心得・ルール		
目的意識をもって、意欲的、積極的に授業に臨むこと。 ＊ 講義の内容や順番については変更の場合もある。		